

宇部港湾・空港整備事務所からのお知らせです

『徳山下松港・宇部港における石炭サプライチェーンの継続に関する検討会』を開催しました

3月15日にANAクラウンプラザホテル宇部にて第2回検討会を開催しました。第1回検討会のワークショップで得られたアイデアを踏まえ、どのような連携手法が可能か議論しました。

検討会の様子

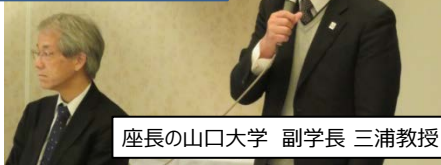


京都大学防災研究所 小野教授より情報提供



バルク7社が連携の方策や課題について意見を交換

連携により、災害時だけでなく常時もコストメリットが得られるよう、工夫していく必要がある



座長の山口大学 副学長 三浦教授



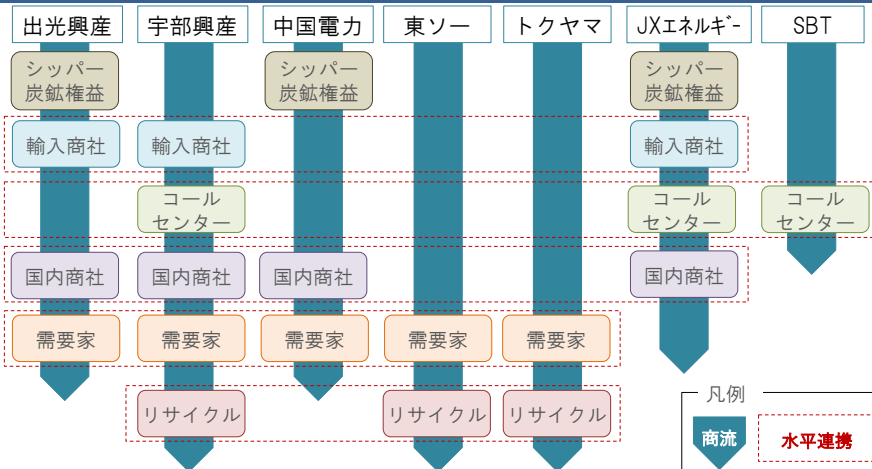
損保ジャパン 高橋委員より情報提供

本検討会で色々な角度からの意見をいただき、各企業が連携できるところを見いだしていきたい



サプライチェーンの継続に向けた連携手法の検討

- ・限られた経営資源を有効活用し、「連携」することで、スケールメリットを活かした「サプライチェーンマネジメント(SCM)の改善」が可能
- ・同業種による「水平連携」は「石炭サプライチェーンの継続」に対しても効果が期待できる



石炭サプライチェーンの継続に向けた7つの連携方策

- ①共同輸送（1次輸送）
輸入時における共同輸送や2港揚げ
- ②スワップ（外買）
輸入時において、国内港湾で災害発生した場合に、洋上取引し他港で荷揚げ
- ③共同輸送（2次輸送）
2次輸送時における合い積み
- ④スワップ（内買）
国内港湾で災害発生した場合に、他港から応援出荷
- ⑤コールセンターの共同利用・共同在庫
災害時に、共同在庫をもつ他のコールセンターからの石炭出荷
- ⑥往復集配（石炭灰等の循環資源）
2次輸送先から発生する石炭灰等の循環資源を帰り荷とする往復集配
- ⑦物流情報システム
各連携を実現するための、石炭に係る物流情報システムの構築

平成28年度も引き続いて、連携の仕組みや体制の検討を行い、机上演習を行う予定です。